



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月4日

上場会社名 サンメッセ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7883 URL <https://www.sunmesse.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長社長執行役員 (氏名) 田中 尚一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 千代 耕司

TEL 0584-81-9111

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,040	3.3	9	93.5	85	62.4	97	1,931.6
2022年3月期第2四半期	7,782	15.8	149		228	407.2	4	90.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 193百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 79百万円 (78.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.32	
2022年3月期第2四半期	0.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,411	10,470	56.4
2022年3月期	19,288	10,727	55.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,382百万円 2022年3月期 10,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		3.00		4.00	7.00
2023年3月期		3.00			
2023年3月期(予想)				4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,940	2.0	345	25.4	470	22.3	290	9.9	18.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	17,825,050 株	2022年3月期	17,825,050 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,328,162 株	2022年3月期	2,328,162 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	15,496,888 株	2022年3月期2Q	15,496,888 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波流行とされる感染者数の急増がありましたが、行動制限の緩和等から社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の深刻化や急速な円安の進行による原材料価格の高騰等から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましては、情報媒体のデジタルシフトによるペーパーメディアの需要減少にともなう競争の激化、価格の低迷という構図が長期にわたり継続していることに加え、エネルギー価格や原材料価格の高騰も重なり、厳しい経営環境が続いております。

このような環境下において当社グループは、2025年に向けた90周年スローガン「Challenge for Change 2025 ～変革への挑戦～」のフェーズ2となるメインテーマとして今期から「One Sun Messe」を掲げ、一体感を意識した組織力の強化・改革に注力し、更なる事業成長と企業価値向上を実現できるよう努めてまいります。また、当社の強みを最大限発揮できる幅広い領域を視野において、地球環境ならびに社会の持続的発展と、グループ全体の持続的成長を両立していくためのサステナビリティ経営につきましても、企業としてのアプローチや具体的な取り組みの策定を推し進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は80億40百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は9百万円（前年同期比93.5%減）、経常利益は85百万円（前年同期比62.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は97百万円（前年同期比1,931.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

① 印刷事業

印刷事業につきましては、個人情報等を扱うIP S関連やセットアッセンブリーなどを行うBPO関連等が増加しましたが、商業印刷物や出版印刷物、包装・パッケージ印刷物等の減少により売上高は75億69百万円（前年同期比0.6%減）となり、営業損失は56百万円（前年同期は営業利益1億59百万円）となりました。

② イベント事業

イベント事業につきましては、新型コロナウイルス感染症への感染対策を徹底することでイベントは順調に受注することができたことと、コロナ関連事業も継続して受注できたことにより売上高は4億71百万円（前年同期比175.7%増）となり、営業利益は64百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて4億41百万円減少して61億14百万円となりました。これは、現金及び預金が6億49百万円、仕掛品が1億円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が9億80百万円、電子記録債権が1億59百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べて4億36百万円減少して122億96百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が97百万円、投資有価証券が3億67百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べて5億62百万円減少して46億96百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が2億30百万円、賞与引当金が1億5百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べて59百万円減少して32億44百万円となりました。これは、長期借入金が53百万円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて2億56百万円減少して104億70百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が3億3百万円減少したこと等が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、18億7百万円となり、前連結会計年度末より5億99百万円増加いたしました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億82百万円（前年同期は9億4百万円の収入）となりました。増加の主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純利益1億56百万円、減価償却費3億40百万円、売上債権の減少額11億39百万円等であり、減少の主な要因といたしましては、棚卸資産の増加額1億24百万円、仕入債務の減少額2億53百万円、賞与引当金の減少額1億5百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2億25百万円(前年同期は5億28百万円の支出)となりました。支出の主な要因といたしましては、有形固定資産の取得による支出1億68百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、76百万円(前年同期は1億80百万円の支出)となりました。支出の主な要因といたしましては、配当金の支払額62百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回公表(2022年5月13日付)いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,283,680	1,932,793
受取手形、売掛金及び契約資産	3,825,852	2,845,771
電子記録債権	711,041	551,492
商品及び製品	93,310	82,714
仕掛品	405,779	506,184
原材料及び貯蔵品	91,334	126,387
その他	148,780	72,496
貸倒引当金	△3,631	△2,880
流動資産合計	6,556,147	6,114,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,537,891	2,482,051
機械装置及び運搬具（純額）	2,335,741	2,238,470
土地	3,283,192	3,283,192
建設仮勘定	-	203
その他（純額）	134,534	121,520
有形固定資産合計	8,291,359	8,125,439
無形固定資産	74,888	73,258
投資その他の資産		
投資有価証券	3,555,468	3,188,039
繰延税金資産	526,730	621,753
その他	309,879	308,663
貸倒引当金	△25,922	△21,062
投資その他の資産合計	4,366,156	4,097,394
固定資産合計	12,732,404	12,296,091
資産合計	19,288,551	18,411,050

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,845,464	1,614,730
電子記録債務	267,481	244,457
短期借入金	1,530,000	1,530,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	57,200
未払法人税等	99,563	53,944
賞与引当金	418,454	313,188
その他	1,089,893	882,516
流動負債合計	5,258,057	4,696,036
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	120,200	66,600
役員退職慰労引当金	215,665	222,417
退職給付に係る負債	2,847,229	2,840,712
その他	20,147	14,455
固定負債合計	3,303,241	3,244,184
負債合計	8,561,299	7,940,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,114	1,236,114
資本剰余金	1,049,534	1,049,534
利益剰余金	8,067,191	8,103,125
自己株式	△1,162,491	△1,162,491
株主資本合計	9,190,349	9,226,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,403,906	1,100,544
為替換算調整勘定	1,867	11,089
退職給付に係る調整累計額	48,083	44,448
その他の包括利益累計額合計	1,453,857	1,156,083
非支配株主持分	83,045	88,462
純資産合計	10,727,252	10,470,829
負債純資産合計	19,288,551	18,411,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	7,782,822	8,040,602
売上原価	6,127,486	6,472,318
売上総利益	1,655,335	1,568,283
販売費及び一般管理費	1,505,487	1,558,594
営業利益	149,847	9,689
営業外収益		
受取利息	106	275
受取配当金	40,510	47,933
不動産賃貸料	32,377	33,365
保険解約返戻金	8,133	-
その他	11,511	9,557
営業外収益合計	92,638	91,131
営業外費用		
支払利息	5,113	4,627
不動産賃貸費用	8,494	8,589
投資有価証券評価損	-	1,695
その他	131	1
営業外費用合計	13,739	14,912
経常利益	228,747	85,908
特別利益		
固定資産売却益	1,307	23,113
投資有価証券売却益	5,819	-
助成金収入	58,551	-
受取保険金	-	33,449
過年度消費税等還付額	-	14,220
特別利益合計	65,678	70,783
特別損失		
固定資産廃棄損	778	141
投資有価証券評価損	326	-
新型コロナウイルス感染症による損失	62,329	-
製品保証引当金繰入額	230,000	-
特別損失合計	293,433	141
税金等調整前四半期純利益	992	156,549
法人税、住民税及び事業税	69,291	30,261
法人税等調整額	△80,962	32,144
法人税等合計	△11,671	62,405
四半期純利益	12,663	94,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,843	△3,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,820	97,921

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	12,663	94,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,810	△303,361
為替換算調整勘定	202	19,622
退職給付に係る調整額	△2,352	△3,634
その他の包括利益合計	66,661	△287,374
四半期包括利益	79,324	△193,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,373	△199,852
非支配株主に係る四半期包括利益	7,951	6,622

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	992	156,549
減価償却費	284,348	340,674
貸倒引当金の増減額（△は減少）	68	△5,610
受取利息及び受取配当金	△40,616	△48,208
支払利息	5,113	4,627
有形固定資産売却損益（△は益）	△1,307	△23,113
投資有価証券売却損益（△は益）	△5,819	-
投資有価証券評価損益（△は益）	326	1,695
固定資産廃棄損	778	141
助成金収入	△58,551	-
新型コロナウイルス感染症による損失	62,329	-
受取保険金	-	△33,449
売上債権の増減額（△は増加）	812,220	1,139,630
棚卸資産の増減額（△は増加）	4,949	△124,862
仕入債務の増減額（△は減少）	△329,136	△253,758
預り金の増減額（△は減少）	△350	1,009
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,368	△105,266
製品保証引当金の増減額（△は減少）	230,000	-
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△93,974	6,752
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	15,911	△11,704
未払金の増減額（△は減少）	△37,207	△73,132
未払消費税等の増減額（△は減少）	11,653	62,774
その他	26,825	△144,601
小計	884,185	890,148
利息及び配当金の受取額	40,858	48,733
利息の支払額	△5,006	△4,656
助成金の受取額	46,570	-
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△62,329	-
保険金の受取額	-	33,449
法人税等の支払額	△25,963	△85,594
法人税等の還付額	26,601	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	904,917	882,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,801	△11,071
有形固定資産の取得による支出	△505,830	△168,365
有形固定資産の売却による収入	1,308	32,000
無形固定資産の取得による支出	△8,003	△19,690
投資有価証券の取得による支出	△13,710	△63,196
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,940	-
その他	476	4,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△528,622	△225,689

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△100,000	-
長期借入金の返済による支出	△3,600	△3,600
リース債務の返済による支出	△14,204	△10,021
配当金の支払額	△62,006	△62,073
非支配株主への配当金の支払額	△1,100	△1,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,911	△76,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	202	19,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195,586	599,112
現金及び現金同等物の期首残高	2,152,113	1,208,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,347,700	1,807,788

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。